

埼玉県農商工連携フェア (H23.2.3)



フェア当日。本番前にブース展示を最終調整。



着々と進むブース最終調整。



開会のあいさつをする上田知事。



開会式。



開会して間もなく。早くもブースにお客様が。



ブース中央に設置された、各事業者が持ち寄った一品によるテーブルディスプレイ。 深谷発食材の宝石箱のよう。



上田知事も、ゆめ☆たまごブースにご来場。

ブース中央のオブジェを作成してくれた、ブルーモルフォさんが、オブジェのコンセプト等について説明。

ゆめ☆たまごブースPRチラシ&マンガ冊子もお持ち帰りいただきました。





ブース前で猛烈に深谷産の食材、食品をPR!!



押し寄せる来場者の波!!!!



“利きネギ” スタート。「何か？」と、足を止める来場者



そして“深谷ねぎ”に集まる人々。



“深谷ねぎ”を次々と刻む、ゆめたま料理人3人衆。そして、真剣に“ねぎ”を選ぶ来場者。
会場での、刻み“ねぎ”実演により、あたりには“深谷ねぎ”を刻む音とネギの良い香り。
視覚、聴覚、臭覚、触覚、味覚のすべてに訴えかける怒涛の深谷ねぎPRタイム。

深谷と言えば、やっぱり“深谷ねぎ”

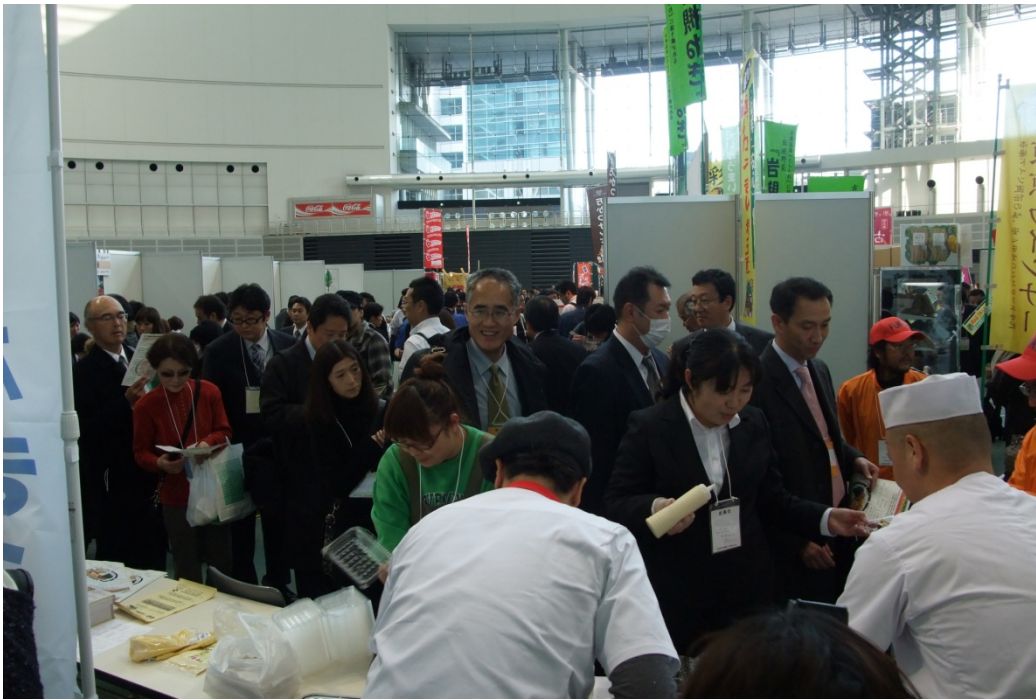
7サンプルを“生”と“ゆで”で。

次々と利きネギを試しに来る来場者。
県の職員ほか、行政関係者の姿も。

さらに、バイヤーさん等の事業者以外にも、
続々とテレビや新聞の報道関係者が。
(2月3日夜のテレビ埼玉で、ゆめ☆たまご
のブースが出たそうです。)



「利きネギ」実施中のブース内。



午後3時、
「深谷まるかぶり寿司」の試食開始。

おそらく当日会場で唯一の行列が「ゆめ☆たまご」ブースで発生!!

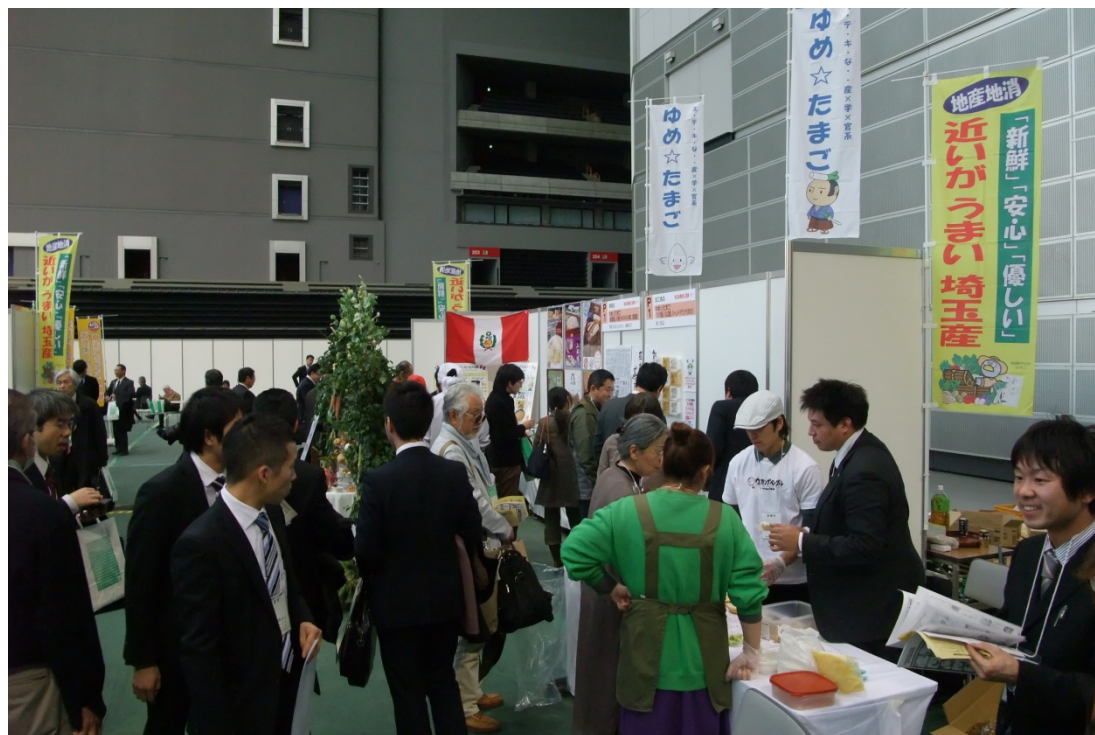


参加事業者の魅力が、まんまる丸ごと巻かれた巻き寿司 →

「深谷まるかぶり寿司」は、当初予定よりも薄く切って、
試食数を増やした（約200食にした）にもかかわらず、30分かからずに終了。

しかし、ここで終わらないのが事業者同士が連携・協力できる強み。

各事業者が持って来ていた試食用食材で即興の連携試食品を生み出し、合体技で
閉会時間まで目一杯それぞれの食材を強烈にPR！



閉会時間が近づいても、来場者が滞留し続ける「ゆめ☆たまご」ブース

